

振り込め詐欺等被害防止コールセンター開設

鳥取県警察本部では、高齢者の皆さんなどが振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害に遭わないように、事業委託した業者が皆さんの自宅に電話をかけて、被害防止の『注意喚起』を呼びかけるものです。



【問合せ】

黒坂警察署根雨駐在所
岩佐 健太郎（電話 72 - 0053）

実施期間 平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

不審電話と間違えないで！！

皆さんがオレオレ詐欺や還付金詐欺などの被害に遭わないために、あらかじめ自宅に電話で注意を呼びかけます。よく話を聞いて、被害防止に努めてください。

不審電話と間違えないようにしてください。

▶**コールセンターが使用する電話番号**

0120 - 275 - 110（フリーダイヤル）

▶**電話をかける時間帯**

平日の午前 9 時～午後 6 時（年末年始および休日等を除く）



大いに笑って病気の予防、健康づくりを

西部自治体病院看護研究会「一般公開講座」に、お誘い合わせてお出かけください

**参加
無料**

鳥取県西部自治体病院看護研究会「一般公開講座」が開かれます。内容は、笑い与健康についての楽しい話です。

この講座はどなたでも参加できますので、お誘い合わせてお出かけいただき、健康づくりに役立ててください。

◆**日 時** 11 月 16 日（土）午前 10 時～午前 11 時 30 分
（受付時間：午前 9 時～午前 10 時）

◆**場 所** 町文化センター / ホール森の音楽隊

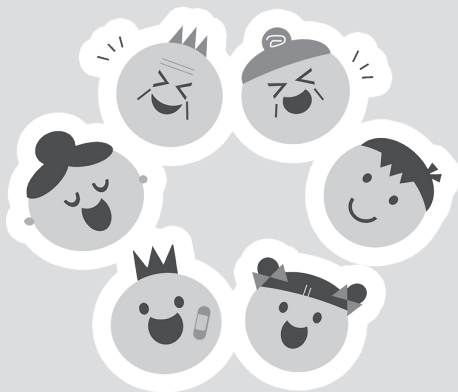
◆**テーマ** 「笑いの雨が降りますように」

◆**講 師** 笑い療法士 伊藤孝史さん
（島根大学医学部付属病院 腎臓内科教授）

【笑い療法士とは】

笑いをもって自己治癒力を高めることをサポートする人のことで、「癒しの環境研究会」が認定しています。笑いは、人が幸せに生きることを支え、また病気の予防にもつながっていきます。

《問合せ》役場健康福祉課 担当 渡部裕之（電話 72-0334）





いつ起るか分からない災害を想定して

▼全町一斉防災訓練



逃げ遅れていないか確認しながら避難



いざという時のために消火栓を点検

訓練を重ねることにより、防災意識の風化防止を図り、町災害対策本部と自主防災組織との連携を強化し、地域防災力の向上と防災意識を高めることを目的に、10月6日、全町一斉防災訓練が行われました。

今回は風水災害を想定。午前8時15分に町災害対策本部を設置、午前9時にサイレンを鳴らして、町民に仮避難所に避難するよう避難勧告を発令しました。

訓練には町内全50自治会、消防団員、役場職員約2000人が参

加。各地区の防災担当がリーダーとなり、迅速に避難する様子が見られました。

また、町消防団も消防車で町内を巡回し、被害状況を災害対策本部に報告する訓練を行いました。本部からの指示に従い、町内をくまなく見て回りました。

各地区においても、避難後、消火栓を開いて水を出したり、簡易担架での負傷者搬送訓練などを行うなど、いつ起るか分からない災害に備えました。

どんなに大変か分かった

黒坂で高齢者疑似体験研修会



文字の見えにくさ、書きにくさに苦戦



介助者に支えられ疑似体験に臨む参加者

10月6日の全町一斉防災訓練に合わせ、黒坂3区自治会が、高齢者疑似体験研修会を町公民館で開催しました。

研修会は、ぼやけて見える眼鏡や、聞こえにくさを体験する耳栓をはじめ、ひじやひざ、足首を曲がりにくくするため固定するサポーターなどが入った、高齢者疑似体験セットを使い、高齢者や障がいのある人などが避難する場合の怖さや生活しにくさを体験してほしいと開催されました。

参加者らは、2〜3人一組になり、交代で体験。視野が狭くなる眼鏡には「ぼやけて見えない。暗さを感じ怖い」と話し、耳栓には「聞き取りにくく、集中力がなくなる感じ」と、困惑した表情を見せました。また、体験した40代の女性は「体力がある私たちでさえ、動くのが大変。高齢者の方はもっと大変だろう」と心配しました。

講師を務めた町社会福祉協議会の谷口事務局長は「体験セットは社会福祉協議会が準備します。グループや自治会、学校など気軽にご相談ください」と笑顔。詳しくは、町社会福祉協議会（電話74・0338）まで。